

「それぞれ個性があるんだよ」

学校長 梅田 比奈子

瀬ヶ崎小学校の花壇は、いつも花でいっぱいです。ガーデンボランティアすみれの皆さんが、世話をしてくださっていて、花壇に色とりどりの花が咲いています。この季節になると満開になる「ミモザ」も美しい姿を披露しています。金沢区の花である「ぼたん」も本校にあります、「ぼたん」は、日当たりと風通しがよく、水はけのよい土で良く育つようで、肥料もかかせません。私は、どの花も日光をたくさんあてて、水をたっぷりあげるのがいいと思っていました。けれども、例えば「スズラン」は、強い日差しに当たると枯れてしまうので、風通しのよい日陰で育てるのだそうです。瀬ヶ崎小の花壇を見ながら、色々なことを調べているうちに、かつて先輩の先生から聞いた、こんな話を思い出しました。



「花や植物は、それぞれ個性があるんだよ。その成長にも。太陽がたくさん当たった方がいい花もあれば、ちょっと薄日がかかるような場所で成長する花もある。水をたくさん与えた方がいい花もあれば、少し乾かした方がいい花もある。そして、開花の時期も成長の時期も違う。一般的にこうだというのは、通用しないんだよね。子どもたちもそうだよ。水をたくさん与えなければいけない子ども、肥料を少なめにしなければならない子ども、そう、成長する時期、かける声、安心するところ等、子どもによって違っている。だからね、一人ひとりをよく見て、知ることが大切なんだよ。」

子ども一人ひとり、みんな違います。その一人ひとりとしていねいに向き合いながら、この子には、どう声をかけようか、どんな教材を用意しようか・・・と考えていく日々です。そして、いろいろな子どもたちがいて、様々な良さが発揮できるからこそ、学級が、学年が、学校が素敵になるのだと思います。

今年度、瀬小は、どのクラスでもお互いのいい所を見つけていこうということを考えています。ある学級の帰りの会におじゃましたところ、ちょうどいい所を発表しているところでした。

「理科の時間にたくさん、草をとっていて、一生懸命にやっていた。」



「日直をとてものがんばっていた。」

「体育の時、勝ち負けにこだわらず、楽しく活動できた。」

一人ひとりの得意な事、苦手な事は違います。あることができるようになるのにかかる時間も異なります。そして、身に付けていく方法も。でも、そんな一人ひとりのがんばりを認め合える、そんな姿にたくさん出会えることがうれしいなあと思うのです。時代が変わり、オンラインで済むことが多くなった今。だからこそ、一人ひとりと関わり、話、体温や表情を感じていくことの重要性を実感しています。